

4 予算の主な増減

(1) 予算規模

	平成30年度	平成31年度	増減
内部取引消去なし	882,432千円	904,454千円	22,022千円
内部取引消去あり	854,513千円	864,200千円	9,687千円

(2) 事業区分別（内部取引消去なし）

	平成30年度	平成31年度	増減
社会福祉事業	658,702千円	742,498千円	83,796千円
公益事業	223,110千円	161,376千円	▲61,734千円
収益事業	620千円	580千円	▲40千円

(3) 主な増減（内部取引消去なし）

(1) 社会福祉事業

① 法人運営事業

ア 法人管理運営事業 46,016千円

- ▶ 会長及び常務理事報酬の新設、人事採用、消費税額増等による増額

② 地域福祉推進事業

ア 地域福祉活動推進事業 33,226千円

- ▶ 新規いきいきセンター設置に伴う職員採用・設置経費・車輛購入等、生活体制整備事業での職員採用及び補助団体数増加等による増額

エ 福祉サービス利用援助事業 6,388千円

- ▶ 新規職員採用、Windows10移行に伴うパソコン入替等による増額

オ 子育て支援事業 5,502千円

- ▶ Windows10移行に伴うシステム変更及びパソコン入替等による増額

③ 共同募金配分金事業

イ 歳末たすけあい配分金事業 ▲2,975千円

- ▶ 生活困窮世帯児童支援ランドセル購入費のセーフティネット基金への移行、地区社協助成金の一部のサービス区分変更等による減額

④ 施設管理運営事業

ア 介護予防センター受託運営事業 5,064千円

- ▶ ボランティアセンターの移転、介護予防センター消費税額増による増額

イ 老人福祉センター管理経営事業 ▲11,313千円

- ▶ 中央老人福祉センター指定管理終了、水道光熱費の見直し等による減額

(2) 公益事業

① 施設管理運営事業

ア 社会福祉センター設置経営事業 ▲54,705千円

- ▶ 沼南社会福祉センター空調設備改修工事終了等による減額

イ 地域福祉センター設置経営事業 ▲8,372千円

- ▶ 地域福祉センター指定管理、障害者支援ボランティア育成事業終了による減額

平成31年度事業計画・予算 概要

1 基本方針

少子高齢・核家族化、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化等により、その福祉ニーズが複雑かつ多様化の傾向にあります。

国は、「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定）において、子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域の中で、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を提唱しました。

また、有識者による地域力強化検討会では、地域共生の文化への定着、多職種連携や地域連携、「点」から「面」への取り組み、「予防」の視点に基づく早期発見・支援、多様な参加の場・働く場の創造など、今後の方向性を明らかにしました。そして、社会福祉法の改正を経て、2020年代初頭の「地域共生社会の全面展開」を目指しています。

平成31年度は、これら国の方向性や第4期柏市地域健康福祉計画を踏まえ策定した「第4期柏市地域健康福祉活動計画」の初年度となります。柏市が目指す「地域で支えあう体制づくりと包括的な相談支援体制」の取り組みを共有し、ともに地域共生社会の実現に向けて取り組みます。

また、地域いきいきセンターの新規開設やふるさと協議会との連携強化、支えあい推進基金の創設などにより、共に支えあう地域づくりを推進します。

さらに、成年後見制度の利用促進のため、かしわ福祉権利擁護センターの機能強化を目指します。また、教育福祉会館の耐震工事に伴うボランティアセンターの一時移転については、これを好機と捉え、介護予防センターいきいきプラザにおける社協事業間の更なる連携強化を図ります。

なお、柏市社会福祉協議会は、第4期計画（初年度）と下記の基本方針のもと、各種事業と重点的な取り組みを実施します。

- (1) 「社会的孤立防止」が全ての福祉に係る共通課題であることを念頭に、各種事業を展開します。
- (2) 2025年の地域社会を見据えた相談支援・ボランティア活動・地域づくりを推進します。
- (3) 組織が持つ機能を効率的に最大限発揮できるよう情報・知識・技術の共有を徹底します。

2 重点的な取り組み

(1) 新たな取り組み

① 第4期柏市地域健康福祉活動計画の推進

第4期柏市地域健康福祉活動計画の初年度として、「地域共生社会の実現」に向けた取り組みを推進します。

特に柏市とともに、地域で支えあう体制づくりと包括的な相談支援に向けた取り組みを推進します。

② 支えあい推進基金によるきめ細やかな活動の支援

[1,682千円]

支えあい推進基金の創設とたすけあいサービス立上げ団体への支援金の交付により、新たな支えあい活動への取り組みを支援します。

③ 若者自立支援のネットワークづくりと支援 [800千円]

若者の自立支援などに取り組む団体の連絡会や活動助成などにより、ネットワークづくりや活動の支援を行い、若者の自立支援を推進します。

(2) 充実・強化

① 計画的ないきいきセンターの設置

市内6ヶ所目となる地域いきいきセンターを開設し、更なる地域支援拠点の拡充と支援体制の強化を図ります。

② 地域共生社会の実現に向けた連携（行政との連携強化）

地域共生社会の実現を意識した各種協議と行政関係部署の横の連携や行政と社協の連携を目的とした連携会議の充実を図ります。

③ 成年後見制度利用促進に向けた取り組みの強化

「柏市における成年後見制度利用促進基本計画の策定に関する検討中間報告」を踏まえ、かしわ福祉権利擁護センターの機能強化を図ります。

④ 災害ボランティアコーディネーターのフォローアップの充実

災害ボランティアコーディネーターの日頃からの繋がりや活動を支援し、いざという時に動ける人材の確保や環境づくりを図ります。

⑤ 社協の魅力発信

社協の取り組みや活動を、ホームページや情報誌「紙ひこうき」等の従来の媒体に加え、SNS等を活用した広報活動を図ります。

(3) 研究・検討事項

① 地域で支えあう体制づくりと包括的な相談支援体制の検討

地域共生社会の実現に向けた地域で支えあう体制づくりと包括的な相談支援体制について、柏市とともに検討します。

② さわやかサービスのあり方の検討や制度の見直し

今後のさわやかサービスが果たすべき役割や現行制度の課題解決に向けて、さわやかサービスのあり方や制度の見直しについて検討します。

③ 災害時の支援体制の強化と新たなネットワークの構築

柏市地域防災計画の見直しを見据え、災害時の社協の役割、柏市との連携強化をはじめ、医療関係団体、柏青年会議所などとのネットワークの構築について検討します。

④ 一時保育事業（預かり保育）の検討

突発的な一時保育の必要性や育児疲れの心理的・身体的な負担軽減などの課題を解決するため、一時保育の実施について検討します。

⑤ 沼南社会福祉センターの休日（土・日曜日）開館の検討

教育福祉会館耐震工事期間のボランティア団体などの活動状況を踏まえ、そのニーズにより期間限定的な沼南社会福祉センターの休日開館について検討します。

⑥ 時代に即したボランティアセンターのあり方の検討

教育福祉会館耐震工事後の同館の機能や取り組みを注視しながら、時代に即したボランティアセンターの今後のあり方について検討します。

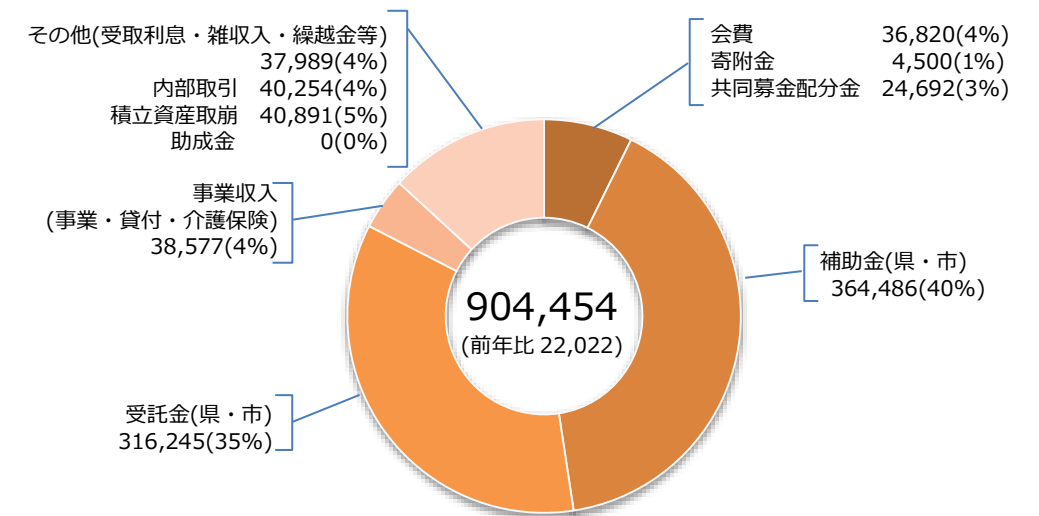
⑦ 社会福祉法人の地域貢献活動への取り組みの検討

共同募金を財源とした地域の福祉ニーズに対する社会福祉法人の地域貢献活動のきっかけづくりや社協と連携した取り組みの実践などについて検討します。

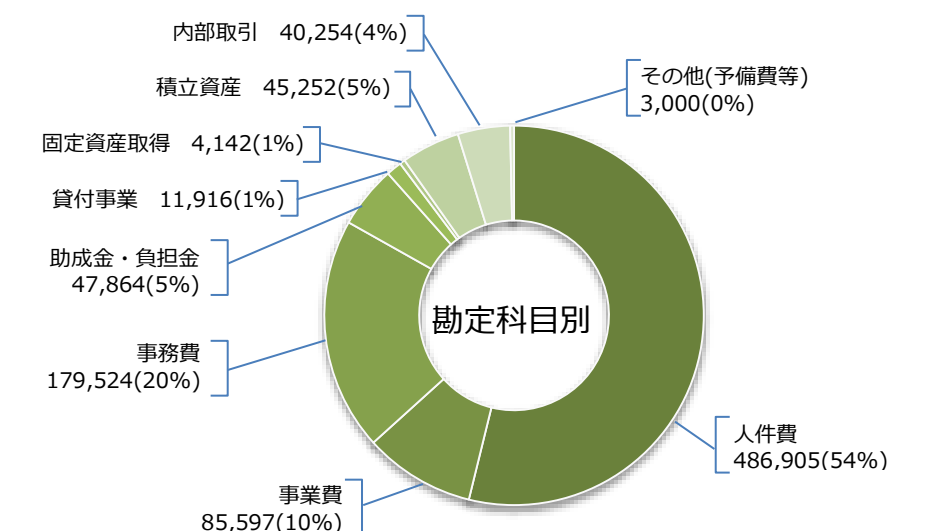
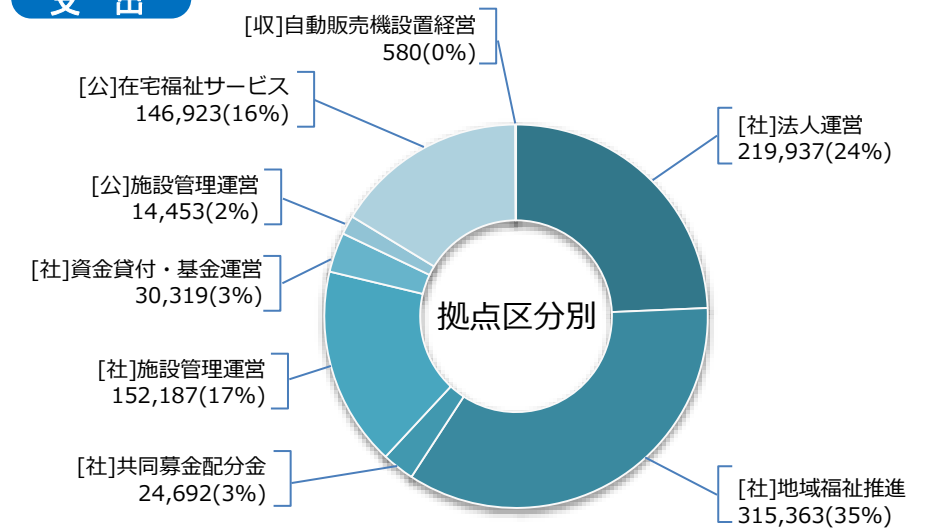
3 予算の概要

単位：千円（内部取引消去なし）
[内部取引消去あり総額 864,200千円]

収入



支出



[主な基金] 毎年度基金を積立て福祉課題の解決に活用します。[積立額/単位：円]
 ① 災害対策基金 被災地支援や災害ボラセン設置 [約 22,610,000円]
 ② セーフティーネット基金 制度の狭間にある生活困窮者支援 [約 24,996,000円]
 ③ 柏こども未来基金 こどもの居場所・経済的支援 [約 16,567,000円]

※ 基金の積立額は、平成31年3月末の予定額です